

横浜市青葉区民文化センター指定管理者選定評価委員会 業務評価第2回委員会 会議録	
日 時	令和8年2月26日(木) 14時00分～17時00分
開 催 場 所	青葉区民文化センター リハーサル室
出 席 者 (五十音順)	石井委員、奈良委員、平山委員、森委員(計4名)
欠 席 者	玉木委員
事 務 局	豊倉地域振興課担当係長、高橋職員
開 催 形 態	一部非公開(傍聴者なし)
議 事	1 施設視察 2 指定管理者による自己評価についての説明 3 質疑応答ほか 4 横浜市青葉区民文化センター指定管理業務の評価について 5 その他
決 定 事 項	1 選定評価委員会として、各目標の委員会評価を確定させた。 2 業務評価報告書について、欠席委員から事前に受け取った意見・評価表及び本日の出席委員の意見・評価表のコメントをとりまとめ、事務局にて素案を作成した後、各委員に確認し、確定とする。
議事内容	1 施設視察 指定管理者の案内により施設内を視察 2 指定管理者による自己評価についての説明 指定管理者によるプレゼンテーション 3 質疑応答ほか 委員 バリアフリーについてだが、現在身体の不自由の方、車椅子の方などは2階に上がれないのか。 指定管理者 階段のみになっており、手すりの設置はあるが階段を登ることが難しい方については、基本的に2階へ上がることは難しい設備になっている。エレベーターを設置するかという話も議題には上っていたが、スペース的に難しく、現状のままである。 委員 PDCA サイクルのDに「実行過程での気づきや学びの記録」とあるが、記録した後にフィードバックを行うと思うのだが、その後の活用方法が示されていなかった。 指定管理者 出てきた課題等は、引継ぎができるように文字、マニュアル等で記録に残すように努めている。だが、意識して行えているかという点は課題としてとらえている。 委員 前任の気づきをアーカイブに残して、アクセスしやすい状況を作れたらとても良いと思う。気楽に見られる環境を作ることは大事だと思う。 委員 メンバーズ会員について、横浜市以外が56%、青葉区民は27%となっているが、どう分析しているか。 指定管理者 青葉区は川崎市宮前区、町田市に隣接をしており、当館は横浜市の南側よりも市外の方がアクセスしやすい施設となっている。ま

	<p>た、全国からクラシック音楽ファンの方が来られるため、市外の会員が多い傾向にある。</p>
委員長	自主公演と共催公演の違いは何か。
指定管理者	自主公演は、我々が責任・リスクを負って、アーティストに出演料を支払い出演していただき、企画も施設側の主導で実施しているもの。共催公演は、各団体の音楽事務所や主催者が企画を持ち込んで実施しているものであり、施設利用料と手数料をいただき、それ以外の部分については全て主催者にやっただけで受けているのか。
委員長	自主公演では海外アーティストの公演が多いが、売り込みが受けているのか。
指定管理者	営業は多いので、ホールのミッションにあったものを厳選して選んでいるのが実情である。
委員長	若手音楽家の育成の中でマスタークラス等があるが、参加者が少ない。オンライン生も対象としており、あまり青葉区や横浜市が関係ないように感じる。
指定管理者	マスタークラス等々への応募が少なかったり、青葉区の実施者が受講審査で落ちてしまったりする。より青葉区内限定で実施できる企画を今後やっていきたいという話は出ている。
委員長	アウトリーチについて、学校訪問などは依頼を受けて紹介しているのか。それとも自分たちで発掘して行っているのか。
指定管理者	現状、依頼が多数あるため、依頼が来ているところからスタートしている。しかし、地域に偏りができているため、こちらから開拓していく必要があると思っている。
委員長	アーティスト紹介が多いと思うが、その際にマージンはもらっているのか。
指定管理者	基本的に紹介だけの場合はいただいている。連携の場合は、我々の方が持ち出しで公演料を出演者に払う場合と、施設側が主催し、公演料を支払っていただく場合の2つある。連携先施設は事業費が潤沢でない施設が多いため、支出が難しい施設が多い。そのため、基本的にアーティストに最大限渡るように調整をしている。マージンをもらおうとしても、ごくわずかになると思われる。
委員長	大学連携について、サークルを活用しているが演奏料などは支払っているのか。
指定管理者	ファミリーコンサートについては、所定の金額をご相談して払って出演していただいているが、金額については楽器の運搬費程度となっている。
委員長	もう少し若手育成とは違う観点で、若手の活動を支えるというような取り組みを進めていただくといいと思う。
委員	アウトリーチ活動では、間に入っている会社があると思うが、コーディネートはどのように行っているのか。
指定管理者	共同で行っている会社が学校の希望をヒアリングして、ある程度学校を振り分けた状態で相談が来る。我々は基本的にできるだけそれに乗るといった形である。そこから先は、基本的に派遣先

<p>委員 指定管理者</p>	<p>と我々で直接打ち合わせを行い、我々の方で要望にあったアーティストを派遣するという流れで調整をしている。 地区センター、コミュニティハウスとの連携については会場利用だけでなく、何を行っているのか。</p>
<p>委員 指定管理者</p>	<p>各地区センター、コミュニティハウスは、自主事業を自分たちの施設でも既に実施している。その中で、地域の方に来ていただくようなミニコンサートイベントの企画をしており、フィリアホールからアーティストを紹介してほしいと相談をさせていただく形になっている。今、地区センターとコミュニティハウスの指定管理の多くを共同事業体の横浜市民施設協会が受けており、各施設の担当とも顔見知りの状態にある。各施設側には、どのような音楽に関するイベントをやりたいかといった等のヒアリングをして、それに合わせてアーティストを紹介している。</p>
<p>委員 指定管理者</p>	<p>区民プロデュース公演の中の区民企画について、採択率は発表しているのか。審査はスタッフがやっているのか。資金援助等は行っているのか。 採択率については発表していない。今の課題として、募集が減ってきているということもあり、応募数のほとんどが採択されている状況である。応募があったら、主催者が面接を行い、採択するに値するかどうかを検討している。また、ごくわずかではあるが助成金を出している。</p>
<p>委員 指定管理者</p>	<p>フィリアホールは個人でも利用ができるのか。クラシック音楽でなければ利用ができないのか。 個人での施設予約は可能。この施設の設備上、例えばリノリウムを敷いてダンスを実施することも可能だが、フィリアホール側では対応できないため、主催者側で用意していただく必要がある。</p>
<p>委員 指定管理者</p>	<p>例えばカラオケ大会や落語などはできないのか。 ホールは生演奏に特化した音響設備のため、通常のカラオケのマシンを持ってくると、反響してしまいうるさくて演目として成立しないという状態になる。音響業者に入っていないと、カラオケ大会は難しい。同じく落語も声が反響してしまい、聞き取れない状況になる可能性が高いため、おすすめしていない。予約の際に一律お断りすることはないが、備品等ご準備いただくものが多いのと音響を理由にご遠慮いただいている。その場合は、緑区や都筑区の区民文化センターも紹介している。</p>
<p>委員</p>	<p>ウェブサイトを見たが、コミュニケーション要素がない。チケット販売や貸館案内はアピールできているが、逆に何か言いたい・何か読みたい人が使えるものがない。リニューアルすることがあればブログを追加するだけでもいいので、何かあるといいと思う。</p>
<p>4</p>	<p>横浜市青葉区民文化センター指定管理業務の評価について 委員会評価の決定にあたり、事務局より集計表を提示し、委員相互の意</p>

	<p>見交換を行った。</p> <p>5 その他 委員会の結果を元に事務局は報告書をまとめ、各委員に内容の確認を行うこととなった。</p>
資料	1 次第